

Yumekobo Junior (日本)



ロボットパフォーマンスのポイント

音声認識プログラムにより、話し声を認識して動作を開始します。
物体認識プログラムを用いて、人と物を識別し、超音波センサーとLiDARを使って、人や物までの距離を測って移動します。
音声合成プログラムを用いて、適切に応答します。
画像認識プログラムにより、適切な行動を選択して実行します。

チーム紹介

【問題提起】

人は加齢に伴って感覚や運動能力が低下し、聞こえにくくなったり、足が弱ったりします。来客にも気づきにくく、気づいてもすぐには動けません。宅配便の受け取りなど、ちょっとしたお手伝いをすることで、高齢者やその家族が安心できる「幸せな生活」を支えるロボットの開発に挑戦します！

【解決方法】

音声認識プログラムにより、人や警報装置からの音声を認識します。火災報知器やJ-アラートの音を感知すると、高齢者に危険を知らせ、スマートフォンを介して別の場所にいる家族にも知らせます。荷物を運ぶなどの簡単な言葉の指示を実行します。



山崎 奏 (チームリーダー)

塩谷 道之 (サブリーダー)

中村 具未

東 創太郎



石川四高記念文化交流館
(オンライン会場)

メンター 山崎 剛 / Email Address : zacky.je9pwy@gmail.com

アドバイザー 出村 公成 / 金沢工業大学 教授